



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

例会場 東京第一ホテル鶴岡 (鶴岡市錦町2-10) 例会日 毎週火曜日 (12:30~13:30)

平成28年4月5日(火) 第2755回 例会 (本年度第34回)

4月19日(火)	会員スピーチⅡ 大川 淳 君
4月26日(火)	ゲストスピーチ 荘内日報社長・公益大理事 橋本 政之 氏
5月 3日(火)	祝日(憲法記念日)・休会
5月10日(火)	RI規定休会

Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp ホームページ◎http://www.tsuruokarc.org/



会長報告

会長/越智 茂 昭

1. 理事会報告

(1) 孟宗汁家族例会について

日時: 5月24日(火) 18:30~

場所: 甚内旅館 招待: 米山奨学生 王莫非さん、
青少年交換 アビーさん・ホストファミリー

案内: 会津若松南 RC、東京東江戸川 RC

(2) 次回クラブ協議会について

5月17日(火) に予定されているクラブ協議会
は今年度の総括と次年度への引継ぎを主として
実施する。

(3) インターアクト年次大会について

6月4日(土) 10:30~15:50 (時間は予定)
に実施される。移動例会でもあるので大勢の会
員の参加をお願いする。

2. 東京東江戸川 RC 観桜会お疲れ様でした

桜が満開の隅田川、そして太田(テジュン)ロー
タリークラブの方々とも懇親でき、楽しいひと
ときを過ごさせていただきました。

3. 母子の健康月間について

今月はロータリーの「母子の健康月間」です。
アフリカをはじめ中東の紛争地区では子供はもち
ろん、その母親も劣悪な環境の中で暮らさざる
を得ない状況です。これを機会に考えてみたいと思
います。

幹事報告

幹事/武田 啓 之

○鶴岡 3RC

移動例会のお知らせ 観桜例会

鶴岡西 RC 4月18日(月) 点鐘: 18:30

場所: 商工会議所 1F

鶴岡東 RC 4月20日(水) 点鐘: 18:30

場所: 商工会議所 1F

鶴岡南 RC 4月21日(木) 点鐘: 18:30

場所: 商工会議所

○立川 RC

移動例会のお知らせ

日 時: 4月21日(木) 家族観桜会

場 所: 百けん濠 点鐘: 18:00~

登録料: 5,000 円

4月28日(木) 余目 RC との合同例会

場所: 白糸の滝ドライブイン

点鐘: 18:00~ 登録料: 5,000 円

○出羽庄内国際村

①第22回出羽庄内国際村ワールドバザール

第1回実行委員の開催について (お願い)

日時: 4月14日(木) 午後7時~

会場: 出羽庄内国際村 2F 締切 4/10

②平成28年度臨時評議会の開催について

日時: 4月19日(火) 午後3時30分~

会場: 出羽庄内国際村応接室

○鶴岡市青少年育成市民会議

鶴岡市青少年育成市民会議組織団体選出役員の推
薦について 締切 5/13

職業奉仕の考え方

次期 RID2800 職業奉仕委員長 富 樫 松 夫 君

本来であれば、1月の職業奉仕月間で地区の委員
長から講話をして頂ければよかったのですが、次年
度私が地区の職業奉仕委員会担当になることから資
料を取り寄せましたのでこの機会にロータリーの根
源である職業奉仕についてお話しさせていただこう
と思います。

「職業奉仕は分かりにくい、難しい」とよく言わ
れます。クラブで、私は何をすればいいのだろう？

出席報告	会員数	34名
	出席	18名
	出席率	58.06%
	前々回確定出席率	75.00%

■RI 会長 K.R. “ラビ” ラビンドラン ■地区ガバナー 酒 井 彰

■会長/越智茂昭 ■副会長/木村 節 ■幹事/武田啓之 ■会長エレクト/加藤 亨
■会報委員会/佐藤詩郎・阿部純次・菅原成規

事務局: 山形県鶴岡市錦町2-68 鶴岡SSビル1F TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376



ロータリークラブとして、何をやるのだろうと考えると分かりにくいかもしれません。

ロータリークラブには、I serve（私は、奉仕する）という言葉があります。serveはserviceの動詞形で、「サービス」は日本語としてすっかり定着してしまった外来語のひとつです。スーパーで、「奥さん、これ三つ買うと一つサービスするよ」などのように使われ、おまけや無料といった意味に用いられることがほとんどです。その他には、行政サービスや介護サービスなどのように地域住民のニーズを満たす行為としての意味でも使われています。

日本にロータリークラブを初めて設立した米山梅吉は、“service”という英語に適当な日本語訳はないので、むしろそのまま“サービス”でよいのではないかといいました。

ロータリークラブの在り方に大きな影響を与えた人にアーサー・フレデリック・シェルドンという人がいます。彼が全米ロータリークラブ連合会の晩さん会で“service”について講演をしたことがありました。1910年の事です。その時出席していたロータリアンは「奴隷の話か？」と冷笑したそうです。当時のロータリアンは企業の目的は利潤追及であると考えていましたから、奉仕をすることこそ企業の目的と聞かされて非常に驚いたのだと思います。

アーサー・フレデリック・シェルドン

ロータリーの奉仕の理念を提唱した人。1868年5月1日、ミシガン州バーノン生まれ。ミシガン大学経営学部マスターコースで販売学を専攻、修士課程トップで卒業後教員資格を取得。1902年シェルドンビジネススクールを開校。20世紀の経営学の基本理念を提唱した。その考え方はロータリーに取り入れられ、彼の「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」“He profits most who serve best”は職業奉仕の理念として定着している。

“service”をロータリーでは「人や地域のニーズを満たそうとする行為」と定義します。そして、相手のニーズを最高に汲み取り、相手のニーズを最高の形で満たすようにすること、これを生活の場全てに行き渡らせることを奉仕の理想“ideal of

service”と呼んでロータリーの目的にしています。冒頭で述べた“I serve”は会員一人一人が奉仕活動の単位であり、「私は、奉仕する」という決意の表明でもあるのです。

このことを踏まえロータリーの職業奉仕“Vocational Service”についてみていきましょう。職業奉仕を一言でいうなら自分の職業を通じて“I serve”するということです。ロータリーでは、職業人を実業家と専門職に携わる人とに分けて考えます。医師や弁護士のような専門職に携わっている人は自分の職業を通して社会に貢献しています。即ち対価にとらわれず、自己の最高の技術・技能を地域社会の人々に提供しています。これは専門職業人は仕事そのものが職業奉仕だということが出来ます。一方実業家は利益追求の要求が強く、利益を上げるためには手段を選ばないということも多々見かけられます。そこでロータリーでは実業家の倫理基準を専門職務の倫理基準に引き上げ、実業人も自分の事業を継続的に発展させるためには、社会に奉仕する事が不可欠であると考えました。この考えを主張したのがシェルドンでした。シェルドンは、持続して反映している企業に共通してみられる特徴を調べました。それは高い品質、安全性の高さ、適正価格、経営者・従業員の接客態度、徹底したアフターフォロー等でした。これを彼は「サービス」と名付けました。“service”が事業発展の核心だったのです。自らの事業を発展させる理念と実践方法が職業奉仕なのです。

委員会報告

出席委員会

◆メイクされた方

佐藤孝子君 佐藤友行君 武田啓之君 加藤亨君
木村節君 丸山隆志君 越智茂昭君 富樫松夫君
富田喜美子君 西川富美子君

◆ビジター

鶴岡西ロータリークラブ 阿部悦子君

◆ゲスト

米山奨学生 王莫非君



スマイル

富樫松夫君 次期地区職業奉仕委員長として皆さんから協力して頂くことが多々あると思います。4月23日には地区協議会があり、委員長さんから出席して頂いて職業奉仕の理念をクラブに持ち帰っていただきたいと思います。よろしくお願いします。

武田啓之君 富樫さん講話有難うございました。今日お使いのデータを回していただいて、繰り返し見ることで職業奉仕の理解に役立たせたいと思います。

越智茂昭君 富樫さん今日は有難うございました。